

令和8年 6月 22日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 劉庭秀
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻国際政治経済論講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職種・人員 助教1名
2. 専門分野 法制史および／または政治思想史
3. 担当科目 本職には必須の授業担当義務はないが、採用者が希望する場合には、講座関連の大学院授業科目（講義および演習等）、全学教育科目を担当することができる。
4. 応募資格
 - (1) 博士の学位をもち、大学における助教又は助手としての教育経験年数1年以上であること。ただし、他の条件において特に優れている場合にあっては上記の年数を短縮することができる。
 - (2) 専門分野は、法制史または政治思想史に関わる分野とし、これらの領域において十分な実績があると認められる者であること。グローバル・ヒストリーに重点を置き、且つ多言語による史料調査能力を有することが高く評価される。採用者には、日本国内外の研究者との連携、特に国際共同研究を通じて、当該分野の発展に貢献することが期待される。
 - (3) 本研究科国際政治経済論講座の助教として、大学院授業科目および当該研究科の関連業務を担当できる者であること。
 - (4) 国籍は問わないが、日本語および英語の双方の運用能力を有する者であること。
5. 雇用形態
 - (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
 - (2) 任期は3年とし、着任後の研究業績が優れていると認められた場合には、1年ごとの再

任を最長2回まで認めることがある。通算在職期間は最長5年を超えないものとする。

6. 採用予定日 令和8(2026)年10月1日以降(応相談)

7. 提出書類

- (1) カバーレター
- (2) 履歴書1部
- (3) 研究業績一覧表1部。著書(単著、共著)、論文、翻訳、調査・報告・紹介等、書評・学会展望等、辞書、その他等に分け、査読の有無を明記すること。
- (4) これまで行ってきた研究の概要と学術的意義及び今後の計画など。(最大5ページ)
- (5) 研究業績のうち、学術論文のサンプル2点(選考過程において追加資料の提出を求める場合があります)
- (6) 必要に応じて、推薦状などほかに資料の提出を求めることがある。

8. 応募締切 令和8(2026)年7月24日(金)17:00(必着)

9. 選考方法 書類選考後、面接を実施する予定である(面接はオンライン方式で行う可能性がある)。

10. 書類提出先 応募書類は単一のPDFファイルに纏め、オンラインにて int-som@grp.tohoku.ac.jp へ送付してください。ファイル名には名前を使用してください(例: Lastname_firstname.pdf)。

11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務係

電話 022(795)7541

FAX 022(795)7583

電子メール int-som@grp.tohoku.ac.jp

東北大学大学院 国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

12. その他

- ・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion: DEI)を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

- ・ 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学ーみんなが主役ー多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

- ・ 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園(定員22名)及び青葉山みどり保育園

(定員 116 名) の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園 (定員 120 名) があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ

<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>